

2022.12.01. 木曜礼拝 最後の結末

エレミヤ書 39 章～41 章&聖餐式

JD ファラグ牧師

主よ、この礼拝の時間を感謝します。主よ、私たちはあなたが必要です。今すぐあなたが必要です。主よ、集中力を与えてください。この時を本当に感謝します。

主よ、今夜、あなたの御言葉が私たちの心に語って下さることを知っています。もう一度、この礼拝の時間に感謝します。あなたがこの時間を祝福し、あなたの益のために用いられることを私は知っています。もう一度、主よ、この時間に感謝します。イエスの御名によって、祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

それでは、皆さんこんばんは。席に着く前に、まだであれば、聖餐セットを取りに来て下さい。オンラインの方も、参加して下さい嬉しです。皆さんを歓迎します。今の間に聖餐式の準備をしておくことをお勧めします。今夜の聖書の学びの締めくくりに共に与かります。その間に、ここに居られる方にお知らせします。今週の 12 月 6 日火曜日午後 7 時に、ここ礼拝堂で祈り会があります。ぜひ参加していただき、教会として私たちと共に祈りましょう。

というわけで、今夜はこの素晴らしいエレミヤ書を読み進めていきます。私たちは今夜、3 章分に取り組みます。ええ、聖餐式も。はい。一拍手一

いいですね？ 皆さん大好きです。「かかってこい！」という感じですね。持ってくる（かかってこい）といえば、パジャマと歯ブラシは持ってきましたか？ これは…さて、せめてもの導入として、なぜ今夜この 3 章を一緒に教えることにしたのか、その理由をお話ししましょう。なぜなら、それがどのように終わりうるか、そして最終的にどのような結末かを、非常に鋭く語っているからです。ちょっと心惹かれませんか？ さらに良くなりますよ。私がそのように言うのは、最終的にどのような結末になるかは、神の警告と神の御言葉に耳を傾けるかどうかで決まるからです。これからこの 3 つの章で見ていくように、何人かの人々、特に今夜初めて紹介される一人は、このような終わり方をする必要はありませんでした。それが、この 3 章を一緒に行う理由の一つです。では祈りましょう。もしよろしければ、一緒に神に祝福を求めましょう、楽しみです。

天のお父さま、本当に感謝します。主よ、1 週間のこの時間は、私たちが本当に感謝し、守りたいと思う時間です。互いに共に過ごす時間だからです。しかし、もっと重要なのは、あなたと、あなたの御言葉の中で過ごすことです。週の真ん中の木曜日の夜に集まって、この美しい場所、安全な場所、聖なる場所で聖書を開き、兄弟姉妹の前で、私たちが共にいるこの時間をあなたに捧げることをとても楽しみにしています。そうすることで、私たちは大きな期待をもって、私たちの信仰の著者であり完成者であるあなたを仰ぎ、信仰において私たちを建て上げていただくのです。

なぜなら、信仰は聞くことから始まり、聞くことはあなたの御言葉によるのです。(ローマ 10:17)

今夜もそのように、あなたの御言葉に触れることができます。主よ、それを私たちの内に入れてください。そうすることで、私たちの心に必要な変化をもたらしてください。だから主よ、この時間と、今夜の聖餐式の挙行を、本当にありがとうございます。あなたが成して下さることに前もって感謝します。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

ではさっそく始めましょう。エレミヤ書 39 章 1 節。

一エレミヤ 39:1一

ユダの王ゼデキヤの第九年、第十の月に、バビロンの王ネブカドネツアルは、その全軍勢を率いてエルサレムに攻めて来て、これを包囲した。

—エレミヤ 39:2—

ゼデキヤの第十一年、第四の月の九日に、都は破られ、

都の城壁のことです。さて、ここで少し背景を説明させてください。ここで何が起きているのか、どのような状況にあるのかがわかると思います。ユダの包囲は、実は約1年半に渡って続いていました。いわば3つの侵略に分けることができます。これは三度目の、最後の侵略です。そして今回、バビロンは城壁を突き破ったのです。ゲームオーバーです。これはまさに40年前からエレミヤが預言してきたことです。エレミヤはこの日が来ることを預言し、警告してきました。そして今、この日、具体的にはその月の九日に、それは起こりました。もし、私がエレミヤだったら...全然違いますが、私たち全員がそのことを神に感謝すべきですが、でも、もし私がエレミヤだったら、「だから、そう言っただろう？ イエスの御名によって。」エレミヤは違います。エレミヤが喜んでいるなどとは、一瞬たりとも想像してはいけません。いえ、エレミヤは嘆いていたと思います。預言的な警告にしたがって正確に成就し、エレミヤは最初から正しかったのです。40年間です。40年間。今、それが起こりました。では3節。

—エレミヤ 39:3—

バビロンの王のすべての首長たちが入って来て、中央の門のところに座を占めた。…

では、これらの名前について最善を尽くします。ご容赦ください。

…すなわち、ネルガル・サル・エツェル、サムガル・ネブ、ラブ・サリスのサル・セキム、…

最前列のみなさんに唾をかけてしまってすみませんね。

…ラブ・マグのネルガル・サル・エツェル、およびバビロンの王の首長の残り全員である。

—エレミヤ 39:4—

ユダの王ゼデキヤとすべての戦士は、彼らを見ると逃げ、夜の間、王の園の道伝いにある、二重の城壁の間の門を通して都を出て、アラバへの道に出た。

—エレミヤ 39:5—

カルデアの軍勢は彼らの後と追い、エリコの草原でゼデキヤに追いつき、…

あまり遠くには行っていません。私たちと一緒にイスラエルに行った人はわかると思いますが、彼は死海地域に行く途中だったようです。

…彼を捕らえ、ハマテの地のリブラにいるバビロンの王ネブカドネツアルのもとに連れ上った。バビロンの王は彼に宣告を下した。

—エレミヤ 39:6—

バビロンの王はリブラで、ゼデキヤの息子たちを彼の目の前で虐殺し、ユダのおもだった人たちもみな虐殺した。

—エレミヤ 39:7—

さらに、バビロンの王はゼデキヤの目をつぶし、バビロンに連れて行くため、彼に青銅の足かせをはめた。

さて、私たちはこれについて数週間前に話しました。エゼキエル書には、そのゼデキヤ王がバビロンに連れて行かれるが、バビロンを見ることはない、という非常に具体的な預言がありました。これが理由です。バビロンに連れて行かれるが、彼は盲目にされるので、バビロンを見ることはできません。おお、こ

れは恐ろしくて生々しいです。最後に見たのは、目の前で息子たちが殺される姿であり、その姿は彼の頭に、心に深く刻まれたことでしょう。

ーエレミヤ 39:8ー

カルデア人は、王宮も民の家も火で焼き、エルサレムの城壁を打ち壊した。

ーエレミヤ 39:9ー

親衛隊の長ネブザルアダンは、都に残されていた残りの民と、王に降伏した投降者たちと、そのほかの残されていた民を、バビロンへ捕らえ移した。

こうして彼らは去って行きました。このように終わります。悲しいことに、ゼデキヤはこのように終わってしまいました。何が私たちに悲しませるかわかりますか？ こんな風に終わる必要はなかったのです。今夜の教えに向けて、今日はこのことを考え、準備していました。何度…、私はゼデキヤがこのことを考えたのだろうかと思うのですが、でも、遅すぎました。ゼデキヤは何度エレミヤと話し、個人的にも何度話したのでしょうか？ 数週間前、皆さん覚えていると思いますが、ゼデキヤはエレミヤを呼び出し、個人的に、それも密かに連れてきました。ただエレミヤに話し、尋ねるために。ゼデキヤはあと少しというところまで来たという感じで、近いようでいて遠いような感じでした。そしてエレミヤに語ります。私たちのために記録され、とても力強く、非常に当てはまります。ゼデキヤはただ、民にどう思われるのが怖くて出来ないのです。ちょっと聞き覚えがありませんか？ 誰かに証しをするとき、

「君はとても近づいていると思うのに」と。しかし、そこまでで、彼らはキリストのもとに来ません。なぜか？ 人への恐れに捕らわれているからです。人を喜ばせる者は、人を恐れます。ゼデキヤは、自分が悔い改めたら、人がどう思うかを恐れていました。彼が悔い改めさえすれば、このような結末にはならなかったはずです。本当に悲劇的なことです。ゼデキヤのように近づいてくる者にとっては、とても悲劇的です。私は信じています、本当にそうなのですが、人を恐れたために、その決意をしなかったのだと。この時点でゼデキヤは、エレミヤが何年もの間、この出来事について預言したすべてのビデオを巻き戻し、再生していることを知らなければなりません。そして今、それは起こっています。実際に起きているのです。これがゼデキヤの結末です。10節。ここまで大丈夫ですか？ 落ち込んでいますか？

ーエレミヤ 39:10ー

しかし、親衛隊の長ネブザルアダンは、何も持たない貧しい民の一部を（興味深いです）ユダの地に残し、同時に彼らにぶどう畑と畑地を与えた。

わお…！ これは興味深いです。最終的に、貧しい民がその地を受け継ぎました。聞き覚えはありませんか？ ええ、そのはずです。それは事実だからです。しかし、これはそのような箇所の一つであり、今夜はまだ別のものを見るかもしれません。ここは、もう一度「なぜ」という問いかけをしてみると良い箇所でしょう。その「何を」の背後にある「理由」は？ これは、民は与えられたと書かれていて、彼らは何も持っていなかったのに、これらすべてを与えられました。具体的には、彼らは貧しく、柔和だったからです。それで、このすべてを受け継ぎます。さて、これがその「何を」です。では「理由」は？ こう考えます。柔和な人は、何の思惑もありません。柔和な人は、信頼されます。柔和な人ほど、感謝されます。多く与えられた者は、多くを求められます。（ルカ 12:48）

多く赦された者は、多く愛します。（ルカ 7:47）

そのような仕組みです。金持ちでプライドが高く傲慢で高慢な人間に、このようなことは任せられません。悲惨なことになるでしょう。貧しい者に、これが与えられました。彼らの結末はこうでした。では、

11節。これは、ただただ驚きです。

ーエレミヤ 39:11ー

バビロンの王ネブカドネツアルは、エレミヤについて、親衛隊の長ネブザルアダンを通して次のように命じた。

ーエレミヤ 39:12ー

「彼を連れ出し、目をかけてやれ。何も悪いことをするな。ただ彼があなたに語るとおりに、彼を扱え。」  
では、このことについて話す必要があるのは、いくつか理由があります。その第一は、これはネブカドネザルがエレミヤのところに行き、エレミヤにこう伝える任務を負わせられたのはバビロン人だということです。「エレミヤ、あなたがしたいと思う事を何でもしなさい。あなたが言うことを、私たちは何でもやってみよう。あなたが望むことは何でも。私たちが面倒を見ます。私たちがあなたを守ります。」  
繰り返しますが、もし私がエレミヤだったら...そうではありませんが、私はこう考えます。

「...なぜバビロン人であるあなたが、同胞よりも私を良く扱ってくれるのですか？」もう一度、このことについて話す必要があります。これに関して、私の思いをお伝えする必要があるかもしれません。これには真実があるからです。悲しいことに、世の中の人の方がクリスチャンよりも私たちに良く接してくれることがしばしばあります。一緒に考えてみてください。これはバビロンの王がエレミヤに親衛隊長を送り、「おい、これからは我々がお前の面倒を見る」と言った場面です。これまで、エレミヤは殴られ、脅され、命を狙われていました。エレミヤは肉体的にも、もちろん言葉でも、残酷に虐げられていました。同胞によって、投獄され、見殺しにされました。今度は、バビロンの王がこう言います。

「やあ、エレミヤ。我々があなたの面倒を見ます。」

ーエレミヤ 39:13ー

こうして、親衛隊の長ネブザルアダンと、ラブ・サリスのネブシャズバンと、ラブ・マグのネルガル・サル・エツェルと、バビロンの王のすべての高官たちは、

ーエレミヤ 39:14ー

人を遣わして、エレミヤを監視の庭から連れ出し、…

おお、ちょっと待ってください。エレミヤはまだ牢獄にいるのですか？　そうです。

...シャファンの子アヒカムの子ゲダルヤに渡して、家に連れて行かせた。こうして彼は民の間に住んだ。  
これがエレミヤの結末です。言いようのない迫害、虐待、あざけり、嘲笑、脅迫にさえ直面しても、忠実であると認められるこの世のエレミヤたちも、このような結末を迎えることになります。

ーエレミヤ 39:15ー

エレミヤが監視の庭に閉じ込められているとき、エレミヤに次のような主のことばがあった。

ーエレミヤ 39:16ー

「行って、クシュ人エベデ・メレクに言え。…

彼を覚えていますか？　数週間前に、この人物を紹介しました。この人は、私たちの友達です。私たちは彼のことが好きです。良い人です。さて、繰り返しますが、エレミヤは今、主からエベデ・メレクのところに行き、主からの言葉を伝えるように言われます。その言葉とは何か？

ーエレミヤ 39:16ー

「行って、クシュ人エベデ・メレクに言え。『イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。見よ、わたしはこの都にわたしのことばを実現させる。幸いのためではなく、わざわいのためだ。それらはその日、あ

あなたの前で起こる。

—エレミヤ 39:17—

しかしその日、わたしはあなたを救い出す —主のことば—。あなたは、あなたが恐れている者たちの手に渡されることはない。

つまり、エレミヤは何をされるかわからないと恐れていたのです。今、最後の包囲網が張られ、バビロン人は城壁を突破して捕虜にしました。これが最後の、最後の、終わりです。確かに、エレミヤには自分に降りかかるもの、自分に起こるものを恐れるあらゆる理由、根拠がありました。しかし、神は、エレミヤにこの御言葉を送られます。

—エレミヤ 39:18—

わたしは必ずあなたを助け出す。あなたは剣に倒れず、あなたのいのちは（よく聞いてください）戦勝品としてあなたのものになる。…

なぜか？

…あなたがわたしに信頼したからだ —主のことば。』

わお…！ このエチオピア人は…またもや、彼はエチオピア人です。彼はエチオピア人で、バビロン人ではありません。彼が主に信頼を置いたとき、何をしたか覚えていますか？ 彼は、身の危険を顧みず、あらゆる困難を乗り越えて主に信頼しました。彼は主に信頼を置き、一人で立ち上がり、事実上、エレミヤの命を救いました。神はこう言われているようです。「わたしはそれを尊重します。わたしはそれを認めます。そのことを祝福します。そのことであなたに報酬を与えます。そのことであなたに賞を与えます。それは信仰だったからです。信頼したからです。」

それがエチオピア人、エベデ・メレクの結末でした。それは、彼のような人たちのすべての結末でもあります。このような信仰をもって、主がされたことを主のためにするとき、神は決して誰にも負い目をお与えになりません。福音書の中で、私はいつも、救い主が信仰を持っている人に出会ったときの感動に驚かされます。すべてを止めて、その個人に注目し、こんなことまで仰います。

「これほどの信仰は、全イスラエルで見たことがありません。」（ルカ 7:9）

もしくは、これはどうでしょうか？

「あなたの信仰があなたを治したのです。」（マルコ 5:34）

「おお…信仰？」そうです、それが彼がしたことです。それが、彼が持っていたものです。へブル人への手紙での節ごとの学びで、このことを学びました。非常に強烈で、素晴らしい書でした。もちろん、私が聖書のすべての書についてそう言っているのは分かっていますが、すべて素晴らしいです。良くご存じの、ある節があります。

「信仰がなければ、神を喜ばせることは出来ません。」（へブル 11:6）

それをひっくり返してみましよう。信仰がなければ、神に喜ばれることが出来ないのであれば、信仰があれば、神を喜ばせることが出来るという意味です。それがまさに、彼がしたことです。これがどれだけ神に喜ばれたことか。主がエレミヤを、しかも彼が最も必要としていたであろう時に遣わしてくださるのは、とても嬉しいことでした。エレミヤは恐怖を感じているでしょう。当然のことながら、自分に何が起こるかわからないという恐怖に怯えながら。主はエレミヤを彼のもとに遣わして言われました。「わたしは、あなたに何事も起こらないようにします。あなたがわたしに信頼したからです。」

ここが重要点です。主に信頼する者は、決して、決して失望させられることはありません。絶対に期待を

裏切られることはありません。あなたが神に信仰を置き、神に信頼する時…！ピシュッ！　そこまです。「ピシュ…！」深い意味がありますが、まあ、唯一言えることです。40章1節。良い感じですよ？　そうでもないですが。時計は見ないでください。

－エレミヤ 40:1－

主からエレミヤにあったことば。バビロンへ引いて行かれるエルサレムとユダの捕囚の民の間で鎖に繋がれていたエレミヤを、親衛隊の長ネブザルアダンがラマから釈放した後のことである。

－エレミヤ 40:2－

親衛隊の長はエレミヤを連れ出して、彼に言った。「あなたの神、主は、この場所にこのわざわいを下すと語られた。

笑ってしまってますみません。その理由がすぐに分かると思います。

－エレミヤ 40:3－

そして主はこれを下し、語ったとおりに行われた。あなたがたが主の前に罪ある者となり、その御声に聞き従わなかったので、このことがあなたがたに下ったのだ。

エレミヤのことを語っています。

－エレミヤ 40:4－

そこで今、見よ、私は今日、あなたの手にある鎖を解いて、あなたを釈放する。もしわたしとともにバビロンへ行くのが良いと思うなら、行きなさい。私があなたの世話をしよう。しかし、もし私と一緒にバビロンへ行くのが気に入らないなら、やめなさい。見なさい。全地はあなたの前に広がっている。あなたが行ってよいと思う、気に入ったところへ行きなさい。」

－エレミヤ 40:5－

しかしエレミヤがまだ帰ろうとしないので、「では、バビロンの王がユダの町々を委ねた、シャファンの子アヒカムのゲダルヤのところへ帰り、彼とともに民のうちに住みなさい。でなければ、あなたが行くのによいと思うところへ、どこへでも行きなさい。」

「エレミヤ、好きなようにしなさい。あなたは自由です。何でもしたいことをしなさい。」

...こうして親衛隊の長は、食料と品物を与えて、彼を去らせた。

これは大きなことです。今、エレミヤはおそらく、少なくとも60代だったと覚えていますか？　今の60歳とは違うことを神に感謝します。私は60歳ですから。当時は大変な生活でしたから。80代や90代のような感じです。ですから、エレミヤは高齢者で、証拠に、彼は殴られ、投獄された傷跡が残っています。今は、かなり痩せているはずです。とても弱く、虚弱です。そして、バビロン人は食料と贈り物を与えて、エレミヤを解放しました。

－エレミヤ 40:6－

そこでエレミヤは、ミツパにいるアヒカムの子ゲダルヤのところに行って、彼とともに、その地に残された民の間に住んだ。

－エレミヤ 40:7－

野にいた軍の高官たちとその部下たちはみな、バビロンの王がアヒカムの子ゲダルヤをその地の総督にして、バビロンに捕らえ移されなかった男、女、子どもたち、その地の貧しい民たちを彼に委ねたことを聞いた。

－エレミヤ 40:8－

そして彼らはミツパにいるゲダルヤのもとに来た。…

さて、これからこの人たちをご紹介しますが、この中で特に注目していただきたいのが、この最初の人です。

…ネタンヤの子イシュマエル、カレアハの子ヨハナンとヨナタン、タンフメテの子セラヤ、ネトファ人エファイの子ら、マアカ人の子エザンヤ、…

ああ、咳払いしそうです。

…そして彼らの部下たちであった。

ここでちょっと説明させてください。理解するための材料になりそうです。このゲダルヤは、バビロンのネブカドネツアル王によって、ユダとエレミヤを含む残された人々を監督し、統治するように任命されました。つまり、彼は今、バビロンによってユダを治めるように任命されました。

—エレミヤ 40:9—

シャファンの子アヒカムの子ゲダルヤは、彼らとその部下たちに誓った。「カルデア人に仕えることを恐れてはならない。この地に住んで、バビロンの王に仕えなさい。そうすれば、あなたがたは幸せになる。まさにエレミヤが語った通りです。民はバビロンに対抗して戦いました。

—エレミヤ 40:10—

この私は、見よ、ミツパに住んで、私たちのところに来るカルデア人の前に立とう。あなたがたは、ぶどう酒、夏の果物、油を収穫して器に納め、自分たちが手に入れた町々に住むがよい。」

—エレミヤ 40:2—

モアブや、アンモン人のところや（イスラエルと国境を接している現代のヨルダン）、エドムや（ヤコブの双子の兄であるエサウの子孫であるエドム人のこと）

ええ、そうですね？ 良かったです、わお…大変な一週間でしたから。もう一度、主の御恵みに感謝します。

—エレミヤ 40:11—

…あらゆる地方にいたユダヤ人もみな、バビロンの王がユダに人を残したこと、シャファンの子アヒカムの子ゲダルヤを彼らの総督に任命したことを聞いた。

—エレミヤ 40:12—

そこで、ユダヤ人はみな、散らされていたすべての場所からユダの地に帰って来て、ミツパのゲダルヤのもとに行き、非常に多くのぶどう酒と夏の果物を収穫した。

今頃、彼らがどんな気持ちだったか、想像できますか？「よし、もう戻っても大丈夫なのか？ 私たちはぶどう酒を飲み、果物を食べれるようになるんだ。」さらに、13節。

—エレミヤ 40:13—

さて、野にいたカレアハの子ヨハナンと、軍のすべての高官たちは、ミツパのゲダルヤのもとに来て、

—エレミヤ 40:14—

彼に言った。…

これは非常に重要なので、注意して聞いてください。

…「あなたは、アンモン人の王バアリスがネタンヤの子イシュマエルを送って、あなたを打ち殺そうしているのをご存じですか。しかし、アヒカムの子ゲダルヤは、彼らの言うことを信じなかった。

—エレミヤ 40:15—

カレアハの子ヨハナンは、ミツパでひそかにゲダルヤに話して言った。…

ヨハナンは、ゲダルヤが「そんなこと信じない」と言った後、ひそかに、個人的にゲダルヤのもとに行き、こう言います。

…「では、私が行って、ネタンヤの子イシュマエルを、だれにも分からないように打ち殺しましょう。どうして、彼があなたを打ち殺し、あなたのもとに集められた全ユダヤ人が散らされ、ユダの残りの者が滅びてよいでしょうか。」

—エレミヤ 40:16—

しかし、…（ああ、これは恐ろしいです。）

…アヒカムの子ゲダルヤは、カレアハの子ヨハナンに言った。「そんなことをしてはならない。あなたこそ、イシュマエルについて偽りを語っているからだ。」

このゲダルヤについて、私は少し時間をかけて主に問いかけました。この男は間違いなく、神を愛し、神に忠実で、神に仕えていました。しかし、残念なことに、彼には、私が二重の意味で言うところの、純粋な素直さと、さらにもう一つ、無知な素直さがありました。次の章で見るように、これは彼にとって良い結末にはなりません。先走りたくないのですが、ここでもう一度、非常に重要なことに注目していただきたいのです。これは私たちが問うべき、また別の「なぜか？」の問いです。なぜなら、こんにちの私たちに、非常に当てはまるからです。

質問：なぜゲダルヤは、このイシュマエルが自分を殺そうとするほど邪悪な存在であることを信じようとししないのか？

繰り返しますが、この純粋で無知でさえある素直さを掲げて、誰もそこまで邪悪にはなれないという考えを、彼は信じていたのでしょうか。私が何を言いたいかわかりますね？ ちなみに、ネタバレになりますが、彼はイシュマエルの手によって滅びます。間もなく見ていきますが、イシュマエルはダビデ王の子孫でした。これがもしかしたら、この男がそんなことをするはずがないと反対した理由の一つかもしれません。「ありえないよ。そんな邪悪な人はいない。」おお、そんな人たちがいます。ええ、イシュマエルはそうです。「ゲダルヤ、あなたが聞きたくなくても、私はあなたの人生に真実を語ろうとしています。この男は邪悪で、あなたを殺そうとしています。あなたが信じていないのは知っていますが、それが真実です。何人の人々が… 私はこれをそのままにしておきます。このことをさらに進めて、こんにちの私たちの人生に適用することは、聖霊にしかお出来になれないことです。しかし、どれだけの人が不必要な死を遂げたのでしょうか。無知な素直さが原因で死に至ったのです。命を犠牲にしました。ええ、これは邪悪です。彼らはあなたを殺したいのです。彼らは人口減少を望んでいます。これは完全に悪です。あなたは信じないのですか？ それは、あなたの世界がそれを許さないからです。

「いや、私は信じない。私はこの男を信用するよ。」

あなたは彼を信用するのですか？ ああ、あなたは科学を信用するのですか？ たぶん、やりすぎてしまいました。すぐにわかりますけどね、ところで、お二人さん。何でもいいですよ！ それは真実です！ これはイシュマエルです！ ちなみに、名前だけでも、「肉」を連想させます。これで、何かわかるはずですよ。この男はとても邪悪で、この無知で世間知らずの彼を殺害し、考えられないような悪、言いようのない悪を仕掛けてくるのを見ることになります。41章です。ええ、お～、皆さん、小さな信仰ですね。

—（笑）—

—エレミヤ 41:1—



ところが第七の月に、“王族”の一人、エリシャマの子ネタンヤの子イシュマエルは、…

ところで、彼は、ゲダルヤの代わりに自分がユダの総督に任命されなかったことを、疎ましく思い、恨みを抱いていたのでしょう。「ゲダルヤは王族ではない。ダビデの家系でもない。私がそうだ。なのに彼を任命するのか？」

…王の高官と十人の部下とともに、ミツパにいるアヒカムの子ゲダルヤのもとに来て、ミツパで食事をともにした。

さて、ここで非常に重要なことを付け加えておかなければなりません。これは実際に、今夜執り行う聖餐式に適應されます。中東では、当時でも、現代でも、誰かと食卓を囲み、パンを食べるということは、その人と親密な絆を結ぶことであり、その人とあなたは死ぬまで忠誠を誓うことになります。イシュマエルはこうして、ゲダルヤの家において、ゲダルヤとパンを裂いています。これは共同体/聖餐であるはずで、私たちは共に一つであり、共にパンを裂いています。共同体ということです。すると、2節。

—エレミヤ 41:2—

ネタンヤの子イシュマエルと、彼とともにいた十人の部下は立ち上がって、シャファンの子アヒカムの子ゲダルヤを剣で打ち殺した。イシュマエルは、バビロンの王がこの地の総督にした者を殺した。

これ以上の悪はありません。

—エレミヤ 41:3—

ミツパでゲダルヤと一緒にいたすべてのユダの人たちと、そこに居合わせたカルデア人の戦士たちを、イシュマエルは打ち殺した。

—エレミヤ 41:4—

ゲダルヤが殺された次の日、まだ、だれもそれを知らなかったとき、

—エレミヤ 41:5—

シェケム、シロ、サマリアから八十人の者がやって来た。彼らはみな、ひげを剃り、衣を引き裂き、身に傷をつけ、穀物のささげ物や乳香を手にして、主の宮に持って行こうとしていた。

これは、喪に服すという意味の表現です。不必要なことでしたが、哀悼の意を表すものでした。そして、ユダの滅亡のために、そこにささげ物をします。

—エレミヤ 41:6—

ネタンヤの子イシュマエルは、…

これは教えるだけでなく、読むのも困難です。

—エレミヤ 41:6—

ネタンヤの子イシュマエルは、彼らを迎えにミツパを出て、泣きながら歩いて行った。…

マジ…？

…そして、彼らに出会ったとき、「アヒカムの子ゲダルヤのところにおいでください」と言った。

—エレミヤ 41:7—

彼らが町の中に入ったとき、ネタンヤの子イシュマエルと、彼とともにいた部下たちは、彼らを殺して穴の中に投げ入れた。

—エレミヤ 41:8—

彼らのうちの十人が…

80人から10人を引けば、彼は80人中70人殺したことになります。

—エレミヤ 41:8—

彼らのうちの十人がイシュマエルに、「私たちに殺さないでください。私たちには、小麦、大麦、油、蜜など、畑に隠されたものがありますから」と言ったので、彼は、彼らをその仲間とともに殺すのをやめた。

—エレミヤ 41:9—

イシュマエルが、ゲダルヤの指揮下にあった人々を打ち殺し、その死体すべてを投げ入れた穴は、アサ王がイスラエルの王バアシャに備えて作ったものであった。

一見すると、なぜそれが含まれているのか疑問に思うような詳細があります。それについて考えがあります。神は今夜私たちに、人間の悪がどこまで行けるかを見せようとしておられるのだと思います。限界はありません。それは…私が探している言葉は何でしょう…？ それは…制御されない、抑制されない、止められない悪です。その詳細の描写です。アサ王が作ったとされる穴があります。このイシュマエルは、その穴を70人以上で満たしました。すごい数の死体です。生々しくしたくないのですが、頭の中でイメージを膨らませてほしいんです。

—エレミヤ 41:10—

イシュマエルは、ミツパにいた民の残りの者たち、すなわち王の娘たち、および親衛隊の長ネブザルアダンがアヒカムの子ゲダルヤに委ねた、ミツパに残っていたすべての民を捕らわれの身とした。ネタンヤの子イシュマエルは彼らを捕囚にして、アンモン人のところに渡ろうとして出発した。

—エレミヤ 41:11—

しかし、カレアハの子ヨハナンと、彼とともにいた軍のすべての高官たちは、ネタンヤの子イシュマエルが行ったすべての悪を聞くと、

—エレミヤ 41:12—

部下をみな連れて、ネタンヤの子イシュマエルと戦うため、(殺すために) 出て行き、…

ダメですか？ それは本文にはありません。ただ、付け加えたかっただけです。

…ギブオンにある大池のほとりで彼を見つけた。

—エレミヤ 41:13—

イシュマエルとともにいたすべての民は、カレアハの子ヨハナンと、彼とともにいるすべての高官を見て喜んだ。

—エレミヤ 41:14—

こうして、イシュマエルがミツパから捕らえて来た民のすべては身を翻し、カレアハの子ヨハナンの側についた。

しかし…

—エレミヤ 41:15—

ネタンヤの子イシュマエルは、八人の者とともにヨハナンの前から逃れ、アンモン人のところへ行った。

ああ、15節がそのように書かれていなかったらと思います。むしろ、15節はこのように書かれて欲しかったです。

「(しかしではなく、) その後、ネタンヤの子イシュマエルは“爪でつるされた”。」これ以上はやめておきます。想像はできたとします。私のために祈ってください。でも、そんなことは書かれていません。だから、ここで私は…私はいつも何日か前に、実際には1週間前に…私はエレミヤが大好きです。私はこ

れを共有したことがあるかもしれませんが、お話しする良い機会かもしれません。今夜の話の内容にも通じるかもしれません。誤解しないで下さい。しかし、実は木曜日の夜にエレミヤ書を教えることは、日曜日の朝の預言アップデートや第一ペテロの教えよりも楽しみなのです。ええ、そうなんです。これが理由です。理由を説明させてください。まず、私はエレミヤが大好きです。皆さんもそうですよね？

なんと偉大な神の人でしょうか。ああ、エレミヤのような人がもっといれればと願います。エレミヤが経験したすべてのことにおいて、40年間、忠実でした。ただ、私はこの人が大好きです。大好きです。しかし、私が好きでない別の人がいます。イシュマエルという名の人です。準備する中で、実際には先週始めたのですが、その箇所を読み始め、祈り、もう一度読み、学びや教えの準備を始める前に、何度も読み返します。私は本当に、その箇所に自分を置きます。そこに自分自身を置きます。私がユダに行ってきたことを知っておいてください。私はカルデア人たちを見ました。彼らがどんな姿か知っています。彼らは意地悪で醜いです、念のため。私は自分をその場面に置きます。ゼデキヤがあれだけ近づいたとき、私は実際にゼデキヤとエレミヤがいた部屋にいました。ゼデキヤの目が取られた時は、本当はそばにいたくありませんでした。実はその時、私は別の場所にいたんですよ。私はその場面に自分を置きます。なぜなら、これは実際に起こったことですよ？ これは神の御言葉、特に旧約聖書を読むときにあることです。というのも、旧約聖書は結局のところ、古いですよ？ ええ、そうです。本当に古いです。私やあなたに適用するという点では、限りなく新しいと言えるでしょう。だから、私はそこに身を置き、ただただ「すごい！」と思いました。私はこのイシュマエルという男を見て、なんと... 気を付けないといけません、なんと汚い、ドロドロとした...彼は逃げるんです。私はこんな感じです。

「神よ、なぜ彼を逃がされるのですか？ なぜ、ヨハナンに彼を殺させられないのですか？ これはどうということですか？」

まだ私は読みながら、学びながら、御言葉を調べています。ところで、皆さんの時間を節約できますよ。私は、遠く、高く、広く調べました。イシュマエルという名、このイシュマエルの名は、もうどこにも出てきません。まあ、ご想像通り、怒りがこみ上げてきました。

「神よ、なぜこの男に何が起こったのか、この男の結末はどうなったのか、記録がないのですか？」

私は知りたいです。むしろ、その場に居合わせたいから、前もって知っておきたい。その様子を見たい。」  
「またもや、これはまずいのですか？ すみません。ただ、正直な気持ちです。この男には当然の報いを受けさせたいです。最終的には、彼が受けるべきものを受けさせたい。彼にとっての結末が見つかりませんでした。これは...私は主に問いかけています。とても牧師的な響きですよ？ そうではありません。文句を言いながら、つぶやきながら、ある意味口論をしながら問いかけていました。これは大丈夫ですか？  
問いかけていました。「主よ、一体どういうことですか？ 彼に何が起こったのですか？ なんとも先が気になります。なぜ教えて下さらないのですか？ あなたはまず、彼を逃がされました。」

今、私はそれを理解できたでしょう、それに対処することができ、乗り越えていくことができたでしょう、もし、その数章後に、この男がどのような結末を迎えるかを聞けたなら。しかし、何も書いていません。全く、何も。ゼロ。なぜか？ いくつか考えがあります。まず、こう前置きさせてください。彼は最後に、自分の行ったすべての悪事に応じて報いを受けたので、安心してください。それが事実です。それが真実です。神はその主権と知恵により、私たちのために記録する必要はないと判断されました。本当に私にとっては、自分に言うべきことかもしれませんが、本当にこいつに何があったのか詳しく知りたいです。しかし、神はそれを含める必要がないと判断されました。ここで、この醜い男、この悪人イシュマ

エルは結末はどうだったのかという未解決の問題が残されていると思います。もしかしたら、この世のイシュマエルがこんにちも健在だからかもしれません。よく考えてみてください。この男の人生の書最終章を飾るにふさわしいものがあれば、それ以上の喜びはありません。しかし、繰り返しますが、神はそれを入れる必要がないと判断されました。それは、このシンプルな1つの真理と大いに関係があると思います。神は、このような邪悪なイシュマエルが今も存在していることを、私たちに知ってほしいのです。こんにちも悪は健在です。先ほどお話したように、悲しいことですが、あえて言えば、このイシュマエルの悪は、今のこの世界でリアルタイムに人類に行われています。このことについて、日曜日の聖書預言アップデートで少しお話する予定です。それはもう、信じられないほどです。これはとても信じがたいことです。ゲダルヤに公平に言えば、パウロはテトスにこう書いています。

### 「きよい人にはすべてがきよく、汚れた人にはすべてが汚れている」(テトス 1:15)

つまり、無知で純粋な人は、そういうレンズで人を見てしまうということです。だから、あなたがゲダルヤで、すべてのものが純粋で、あなたが無知であるとき、この純粋さと無知があり、このイシュマエルと向き合う時、あなたは、彼や私たちにとって大きな危険を冒す傾向があります。私たちは、純真無垢な自分のレンズを通して、相手を見る傾向があります。また逆に、あなたが病的な嘘つきだとしたら、どうでしょう？ 誰もが病的な嘘つきだと考えます。「汚れた者にはすべてが汚れている」だから、私が正直者であれば、あなたも私と同じく正直者だと思うのが自然な流れです。分かりますね？ これは非常に重要な原則です。結論はありますので、ご辛抱ください。

もし私が嘘つきで、病的な嘘つきで、誰かと話していたら、その人を見て、その人も私と同じように嘘つきだと思い込むでしょう。彼らは私に正直に話していないと。ですから、きよい者にはすべてがきよく、汚れた者にはすべてが汚れています。

さて、これは私たちが今世界で経験していることにどう当てはまるのでしょうか？

ところで、もう一度言いますが、私が何度も言い続けるので、皆さん飽き飽きされないことを願います。しかし、これで終わりです。このような終わり方です。このような結末になります。そして、これが終わる時です。終わりなんです。これまでです。これで終わりです。このように終わります。そして、こんにちの悪は、このゲダルヤの素直さで打ち消されるのです。なぜなら...

「いや、政府がそんなことするはずない。」「医学界はそんなことはしないでしょ。」

本当に言ってしまいました。今もう、何も失うものはありません。だから、とにかくやりきります。それがイシュマエルです。イシュマエルの悪は今も健在です。

最後にこれだけお伝えして、まとめたいと思います。もしあなたがゲダルヤなら、まず、私たちはあなたが大好きですよ。あなたの心を祝福します。あなたのそばにすることが大好きです。夕食に招きたくなるような人です。イシュマエルを夕食に呼ぶのはやめましょう。それはあまりうまくいきませんでした。でも、あなたは私たちが一緒に過ごしたい、親睦を深めたいと思うような人です。しかし、最大の財産が最大の負債になりかねません。最大の強みが最大の弱みになることがあります。パウロがコリントの人々に書いたものです。

「立っていると思う者は気をつけなさい」第一コリント 10章 13節だと思います。

### 「立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。」(Iコリント 10:12)

なぜパウロはそう言ったのでしょうか？ なぜなら、私たちは、自分が一番強いと思うところで倒れやすいからです。なぜかという、「その分野はもう大丈夫だ」と思って油断してしまうからです。敵は、「よ

し、やってやろう」という感じです。だから、私たちは倒れてしまいます。しかし、弱かった部分は補う傾向があります。そのため、自分が得意とする分野を犠牲にしてしまいます。つまり、私たちの最も強い長所の資産が、最も大きな短所になることがあります。それについてはペテロに聞いてみてください。ペテロがイエスを否定したとき、どのように倒れたのでしょうか。ペテロは勇気の領域で倒れました。冗談でしょう？「勇気」はペテロのミドルネームだったのに。ペテロは、嵐の中船の上で、イエスに「私に来いと命じてください」と言う勇気がありました。そして船から降り、水の上を歩いたのです。それがペテロです。勇気。イエスが捕らえられた時はどうでしたか？

ローマ軍の全軍を相手に、剣を取り出してマルコスの耳を切り落とすほどの勇気がありました。

#### (ヨハネ 18:10)

それは勇気です。ヘブル語で「フツパ」だと思います。聖餐式セットに唾がかかってしまいました。こっちのテーブルの上にあるものを取ってください。— (笑) —

ポイントを整理する必要があります。お付き合いいただきありがとうございます。あなたがゲダルヤなら、気を付けてください。なぜなら、あなたは非常に無防備だからです。あなたの弱点は、あなたが信頼していることです。あなたは信頼される人だからです。あなたの弱点は、自分が正直者であるために、誰もが正直者だと考えていることです。あなたの弱点は、あなた自身が純粋なので、誰もそんな悪人にはなり得ないと思っていることです。それはあなたの人生を犠牲にすることになりかねないということです。文字通りに。気を付けてください、ゲダルヤ。私たちはあなたが大好きですが、それがあなたの結末になるので、気をつけてください。

#### —エレミヤ 41:16—

ネタンヤの子イシュマエルがアヒカムの子ゲダルヤを打ち殺した後、カレアハの子ヨハナンと、彼とともにいたすべての高官たちは、ネタンヤの子イシュマエルから取り返したすべての残りの民、すなわちギブオンから連れ帰った勇士たち、戦士たち、女たち、子どもたち、および宦官たちを連れて、ミツパから

#### —エレミヤ 41:17—

エジプトに行こうとして、ベツレヘムの傍らにあるゲルテ・キムハムへ行き、そこにとどまった。

カルデア人のために。なぜか？

#### —エレミヤ 41:18—

バビロンの王がこの地の総督としたアヒカムの子ゲダルヤを、ネタンヤの子イシュマエルが打ち殺したため、カルデア人を恐れたからである。

ここで何が起きているか、分かりますね？ 彼らは、当然のことながら、恐怖を感じています。バビロンが、ネブカドネツアルが、イシュマエルという男がユダの総督を殺害したことを知ったからです。混乱が起こるだけです。そして今、最後にここで起きたことがきっかけで、一連の出来事が展開されることになり、この章は終わります。主の御心なら、来週、さらに3章に取り組みます。終わったばかりです。もう一度やりますよ。繰り返しますが、それらは一緒に取り組む必要があります。なぜなら、これから見るのは、神が再び彼らに警告しておられるからです。特にヨハナンに。

「エジプトに行ってはならない。あなたはカルデアへの恐れに基づいて、生死に関わる決断をしている。」エジプトは世の型です。彼らはユダに残るよりもエジプトの方が安全だと思ったのです。それが彼らにとってどのような結末になるのか。では、来週も来ないといけませんね。パジャマと歯ブラシを持って。

実は、今夜の聖餐式をととても楽しみにしていたんです。主が私に語られたことを、皆さんに伝えたいと思います。とても励みになります。神が私に語られたとき、私が励まされたように、皆さんも励まされることを願います。ルカの福音書 22 章は、私たちが親しみを込めて「最後の晩餐」と呼ぶ、聖霊によるルカの記述です。14 節。

ールカ 22:14ー

その時刻が来て、イエスは席に着かれ、(12 人の) 使徒たちも一緒に座った。

ールカ 22:15ー

イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をする

ことを、切に願っていました。

ールカ 22:16ー

あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。

ールカ 22:17ー

そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。

ールカ 22:18ー

あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

イエスがこのことを伝えられたのは二度目です。

ールカ 22:19ー

それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。

ここに居られる方は、上部を剥がし、パンを持って少しお待ちください。私たちは私たちの身代わりに裂かれた、イエス・キリストの御体の象徴を手に持っています。骨ではありません。過越の小羊として不適格になってしまうからです。過越しの小羊はどの骨も折れてはいけません。皮膚が裂かれました。イエスは私たちと同じように忘れやすい弟子たちに思い出させようとしておられます。私たちは何を忘れやすいのか？ イエスが私たちのためにして下さったことです。イエスは私たちに何をして下さったのか？ 私たちのために死なれました。この意味を分かっていますか？

この話を聞いてください。これは私を驚かせたからです。非常にシンプルです。そう、非常に深いです。今夜は、イエスが私たちのために死なれた時に成してくださったことをお祝いします。それはすべてを変えます。なぜなら、もはや神の好意に見合う必要はないからです。どういう意味か？ もはや、こう生きる必要はありません。実際、このような生き方はできません。

「今日は良い一日だったから、神は私を祝福してくれる。」「ああ、今日は失敗してしまった。神は非常に怒られるだろう。」

違います。イエスが成してくださったことのゆえに。もう自分の罪の罪悪感、罪責感に押しつぶされることはありません。イエスが私のためにして下さったことのゆえに。今、私と主との関係は、私がすること

が前提ではありません。ただ、主がすでになさったことだけを前提にしています。ピリオド。完了しました。私に出来ることは何もありません。

「ええ、でも、牧師さん、あなたが言っているのは、私が何をしたとしても、ということですか？」  
そうです。それは支払われました。

「ええ、でも...神は...神が、『この件には2、3日必要だ』、とおっしゃるようなこともあるでしょう。」  
ありません。私は赦されました。なぜなら、私のためにイエスの御体が裂かれ、イエスの血が流されたからです。ですから、今晚、私たちが参加するにあたり、私はただあなたにとって励みになることを願います。主との関係をもう一度見直してみることをお勧めします。敵は、あなたが罪責感に押しつぶされ続けること以上に望むことはないのですから。

**「イエス・キリストにある者が罪に定められることは決してありません。」(ローマ 8:1)**

つまり、ショックかもしれませんが、私たちは罪を犯します。私たちが罪を犯す時、天で主が、こう言っておられると思いますか？

「またか?! またやったのか?! 冗談でしょう? あなたはわたしに誓まで立てたのに。」  
ああ だから今、私の関係はあなたへの従順さとあなたへの誓いが前提になっています。

「私はそれを達成しなければならない。それを獲得しなければならない。それに値するものでなければならない。」

**違います。私は信仰を通して、恵みによって救われました。(エペソ 2:8)**

**罪が溢れるところに、恵みはさらに満ち溢れます。(ローマ 5:20)**

そういうものなのです。敵は私たちにそのことを知られたくありません。なぜなら、敵は私たちをその罪責感の下に置いておきたいからです。なぜなら、罪の責めは私たちを主から遠ざけ、罪の示しは私たちを主に近づけるからです。それで見分けがつかず、これがリトマス試験紙です。ですから、あなたが罪を犯した時、こういう考えを抱き始めます。

「う〜...神は私のことを良く思っておられない。神が私を愛しておられるのは知っているが、今は、私のことを好きではないだろう。」

どこでそんな考えを手に入れたんですか? それは嘘です。真実ではありません。イエスはあなたを愛され、あなたを好きなのです。しかし、サタンはあなたにそんな風に生きて欲しくありません。なぜなら、サタンはあなたが自由に生きる時、どうなるか知っているからです。

**「御子が自由にした者は、本当に自由になるのです」(ヨハネ 8:36)**

罪を犯さなくなるのではなく、罪を犯すことが少なくなるのです。もう一度やってみます。もうすぐ終わります。皆さんのご忍耐に感謝します。というのも、これが一般的な主張だからです。

「そんなことを言ったら、もっと罪を犯すことになるじゃないか。」そんなことはありません。神のあわれみと恵みの杯を味わったとき、あなたが主に対して罪を犯したとき、あなたが主からさらなる恵みを受ける者となる時、それは、あなたに何かをもたらします。それに反して、罪を犯したくなくなります。それはローマ書の...思い出せない時は本当に遅いです。ローマの2章4節です。2章4節だと願います。パウロがこう言っている箇所です。「人を悔い改めに導くのは、神の優しさである」「神の義!」「神の御怒り!」「神の罰!」ではありません。楽しみすぎました。お察しの通り、以前にそれら全て経験済みですから、よく知ってます。いいえ、それは神の優しさ、神の恵み、神の愛です。私がそこから抜け出し、神がそれでも私を愛して下さっていると、神は私に怒っておられないと気づく時、それがすべてを変え

ます。イエスが成されたことを覚えて、共にいただきましょう。主よ、感謝します。神さま本当にありがとうございます。ああ、主よ、このことを感謝します。このような意味があることに感謝します。主よ、自分自身も含め、これに陥りやすい人のために祈ります。敵は私の頭の中に入ってきて、私を非難し始め、罪悪感が募り、非難が私を落ち込ませます。あなたと私の関係は、それを前提にしたものではないことを、思い出す必要があります。そのため、私たちは今夜、あなたとあなたがして下さったことを思い出しながら、これを行うのです。イエスさま、本当に感謝します。

ー ルカ 22:20ー

**食事の後、(イエスは) 杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」**

ここに居られる方は、残りの部分を剥がし、杯を持って少しお待ちください。そこで今度は、キリストの御体の象徴であるパンから、杯へと進みます。キリストの血の象徴です。こう言うのもなんですが、これが決め手となりました。聖書には、

**「血を流すことなしに、罪の赦しはない」と書いてあるからです。(ヘブル 9:22)**

赦しとは、取り除くという意味です。覆うのではありません。旧約聖書のヘブル語では「コファル」ただ罪を覆うことでした。しかし、イエスが来られたとき、その罪を一度ですべて贖ってくださいました。しかも、今は覆われているだけでなく、実際に完全に取り除かれています。東が西から遠く離れているように、あなたの緋のような罪は、もう覚えられません。それが、杯が表すものです。さて、先ほどお話したこととどう関係があるのでしょうか。今夜、私たちが、イエスの血の象徴である杯と一緒に飲むことは、私のすべての罪、何かではなく、ほとんどの罪でもなく、ある罪でもなく、すべての罪が支払われたことを思い出すためです。なぜなら、これはイエスの血による新しい契約だからです。それで解決です。後からできることは何もありません。追加で持ってこれるものはありません。完了したので、何も言えることはありません。以上です。ですから、いただくとき、これについて考えて欲しいのです。次に敵がやってきて、あなたがしたことをしつこく責めてきたら、私が言いたいことが分かりますね？ 私はこう言います。

「私は血で覆われている。私の前から出ていけ。出ていけ。惜しかったね。離れなさい。他の人のところへ行きなさい。私のことは放っておいてくれ。私の家の門柱は、血で覆われている。」

だから、死の御使いは私の上を通り過ぎます。敵はただ通り過ぎるだけです。ただ進み続けます。出エジプト記のイスラエル人のように、疫病を避けるために、上に血、下に器、左右にも血を付けました。十字架の形です。ローマ人が十字架刑を思いつく前のことです。これが、イエスが成就された過越しの預言です。よろしければ、そのことを覚えて、共にいただきましょう。皆さんお立ちください。カポノ、上がって来て下さい。

天のお父さま、私たちのためにひとり子を死なせ、私たちのために全てを支払ってくださるほどに私たちを愛してくださっていることに、どうしたら十分感謝できるのでしょうか。私たちの中で信じる者は誰でも、永遠に地獄で滅びることなく、あなたとともに天国で永遠の命を持つことができるのです。ああ、主よ、あなたは上の部屋で、二度弟子たちに言われました。私たちが今夜ここで行ったこと、あなたが弟子たちで行ったことが、あなたの御国で完全に成就するその時を、待ちきれず、切に願い、待ち望んでおられると。主よ、私たちも待ちきれません。ですから主よ、早く来て下さい。マラナタ。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。



---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7